



令和7年度 第16号 令和7年12月24日(水)

各々が着実に成長できた、実りある2学期でした

例年以上に残暑の厳しいなかで始まった2学期も冬へと季節が移り変わり、吐く息が白くなった今日、終業式を迎えました。今年も2学期始業が9月からと以前よりも若干遅くなったとはいえ、学期中は目の前の行事や出来事に追われるような日々を送っていたため、終わってみると「あっという間」という感も拭えません。

2学期については、運動会・修学旅行や校外学習・市陸上記録会・市幼小中合同音楽会・市合同美術展等々の様々な行事を通して、努力することの尊さや友人と協力することの大切さなどを感得し、児童各々が人間的に大きく成長したと思います。その早さに差はあっても一人ひとりには着実に伸びていることを感じています。



さて、明日から始まる冬休みの生活について、年末年始の忙しい時期こそ、是非、お子さんに向けて『**家族の一員としての役割を果たす**』よう、ご家庭でお話しいただきたいと思っております。冬休み期間中は**家庭内での分担(例えば、風呂や玄関の掃除、食事後の食器洗いや後片づけ、洗濯物の取り込みなど)**を毎日委ね、役割を任される充実感を味わわせるとともに全うする成就感・責任感を高めさせたり、キレイにするコツや効率的に作業する手順など生活する上での知恵を体験的に身に付けさせたりしていただけないでしょうか。慣れない仕事をさせるため、多少の失敗には目をつぶってもらうこともあろうかとは思いますが、学期中にはなかなかできないことを経験することが子どもたちの学びに繋がりますので、ご配慮をよろしくお願いいたします。

また、年末年始の時期にかかる冬休みは、世間も慌ただしいなか小学生にとって誘惑の多い休みでもあります。冬休み中の生活については、早寝・早起きの励行やデジタル情報端末・メディアとの節度ある関わりなど規則正しく規律ある日々を送ることで、安全に毎日を送り無用なトラブルに巻き込まれないよう指導をしています。ご家庭においてもご指導をお願いいたします。

最後になりましたが、2学期も1学期同様に、PTA 本部役員や各種委員会委員の皆様をはじめとする多くの保護者の皆様、地域にお住まいの皆様には、児童たちを見守り支えていただき、大変ありがとうございました。ご支援・ご協力いただいた多くの方々のおかげで児童は安心安全な学校生活を送ることができ、充実した学習活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。3学期もこれまで同様に、登下校や行事、学習活動の応援をよろしくお願いいたします。



3学期の始業式には、楽しく充実した冬休みを送り、生き生きとした表情の児童の皆さんに会えることを楽しみにしています。

よいお年をお迎えください。

12月に入ってから、校内におけるインフルエンザ罹患患者数は11月と比べて落ち着いてきました。しかし、未だ皆無には至らず、気の抜けない状況です。年末年始の冬休みについては、人の多い場所へ外出する機会が多々あると思います。引き続き、『手洗い・うがいの励行』『定期的な部屋の換気』『咳エチケット』等を心がけて、感染症予防に努めてください。元気に楽しい冬休みが過ごせることを願っています。

お世話になっている方々へ感謝の気持ちを伝えました

12月9日に、毎日の学校生活を支えていただいている学校支援ボランティアの方々へ感謝の気持ちを伝える集会を体育館で行いました。本校は、地域の皆様や各種ボランティアの皆様などに支援していただいて、毎日の教育活動を展開しております。当日は、学校生活を支えていただいている多くの皆様のうち、交通指導員・読み聞かせボランティア・長寿会の見守りボランティアの代表者各2名の方々をお招きして、日々お世話になっていることに対する感謝の気持ちを児童が伝えました。全児童がお礼の手紙を書き、代表児童がお礼の手紙をまとめたファイルと花束を感謝の言葉を述べながらお渡ししました。また、お世話になっていることへのお礼として、歌のプレゼント「ありがとのお花」を全校歌唱しました。三郷小は、地域の方々のご理解とご支援の下で成り立っています。今後も児童が安全で快適な充実した学校生活を送れるよう、引き続きよろしくお願いいたします。



校内で痛い思いをする児童が少なくなるように

12月10日に、5・6年生を対象として学校保健委員会を行いました。今年のテーマは『けがの少ない三郷小をつくろう ～自分でできる応急手当を考えよう～』と主題は昨年度のものを引き継ぎつつ、今年度は副題として自立的な対応を考える活動を加えてみました。児童保健委員会が「日常の学校生活に潜むけがをしやすい場面や危険性を提示したビデオ」を作成し、各教室でそのビデオを視聴するといった方法で行いました。ビデオから伝えられた問いに対する解決策を各自で考えたり周囲の児童同士で話し合ったりしながら、けがの未然防止や自分でできる応急手当を探っていました。最後に学校医や学校歯科医の先生方からの指導・助言を保健委員の児童が読み上げ、けがのない落ち着いた学校生活への一助を学んでいました。校内でけがをする児童が絶えない日々ではありますが、今後、けがで痛い思いをする児童が一人でも少なくなってくれることを願っています。



※1～4年生も12月18日の給食の時間にビデオ視聴しました。

【大塚広之 教頭先生から】



今年1年を振り返ってみましょう



先日、京都の清水寺で今年1年を象徴する漢字が発表されました。今年の漢字は「熊」。今年は日本各地で熊の目撃情報がありました。思いがけず熊に出会い、ケガに遭われた方もいます。冬休みにお出かけの機会もあると思います。十分お気をつけください。

さて、思いがけず熊には出会いたくありませんが、出会いについて、江戸時代の人々は家族で大晦日に「七味 五悦 三会（しちみ ごえつ さんえ）」について語り合い、この「七・五・三」全てに出会えた年は「とてもよい年であった」と、喜び合う習慣があったそうです。七味とは「今年初めて食べた、おいしいもの7つ」、五悦とは「5つの楽しかったこと」、三会とは「出会えてよかったと思える3人の人との新しい出会い」のことをいいます。この出会いについては、家族みんなで出会ったもの（人）もあれば（いれば）、それぞれに出会ったもの（人）もある（いる）かもしれません。さらに「七味」「三会」については「初めて、新しい」という言葉があるので、思いのほか思い出すのに時間がかかる人もいるかもしれません。しかし、「七・五・三」全てに出会えたら「とてもよい年として喜び」ますが、全てには出会えなくても出会えたものや人に出会えたことを喜び、次の年をさらによい年にしようという振り返りです。学校には、たくさんの出会いがあります。みなさんも今年1年、どのような出会いがあったか振り返ってみませんか。